

キンメダイ食害忌避装置説明会

キンメダイ漁業では針にかかったキンメダイがサメ等に食べられる「食害」が問題となっています。サメ対策としては、サメが獲物を探す際に活用するロレンチーニ器官を電気で刺激して忌避を促す方法が考えられています。また、近年はこの対策を簡易的に行うことができる機器「海園」が販売されています。

今回は海園を開発・販売している(株)デニズに依頼して装置の使用方の説明会を7月4日に伊東地区にて開催しました(写真1)。装置の使用は①縄を引き上げる時に幹縄に沿わせるように装置を投下する方法と、②あらかじめ仕掛け等に装置を装着する方法があります。推奨は②の方法で、かつ、ワイヤー部分を幹縄に沿わせるようにビニールテープ等で固定することでした(写真2上)。なお、①の方法の場合、重りをつけて投下することになりますが(写真2下)、縄が潮に流され横に出ているとうまく投下できない、ワイヤーが下方向に向かないことにより効果が発揮しにくいといった欠点があります。また、海園を活用した漁業者からの聞き取り調査で、「餌を狙って興奮状態のサメには効きにくい」との意見があり、このことから①であらかじめサメを忌避させることが重要であると考えられます。



写真1 説明会の様子

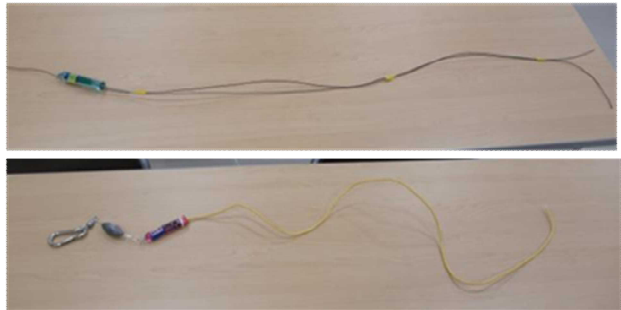


写真2 幹縄に固定した海園(上)

投下用に重りを取り付けた海園(下)

(高田伸二)